

11. 林地開発許可

(1) 制度の趣旨

森林は、木材や特用林産物等の経済的機能と併せて災害の防止、水源のかん養、環境の保全といった公益機能を有していることから、特に公益的機能の高い森林については森林法の規定する保安林制度に基づき、その保全及び形成が図られてきたところである。

しかしながら、近年の高度経済成長、都市化の進展など社会経済情勢の変化に伴い、法的規制措置が講じられていない森林において無秩序な開発行為が見受けられるようになった。

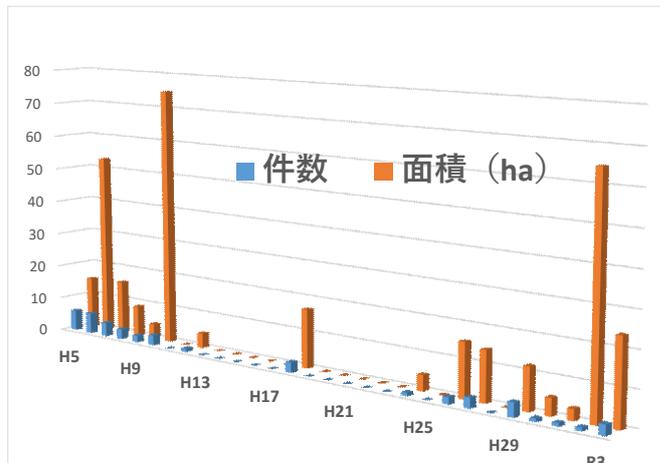
このようなことに対処するため、昭和49年に森林法が改正されて「民有林における開発行為の許可制」が導入された。

(2) 管内の現状

管内の民有林面積は全県の60%を占め、本県林業の中心的役割を果たしている。一方、重要な水資源地域であり、更に貴重な動植物が分布するなど機能の高い森林が多いことから、開発行為の審査等に当たっては特に慎重を期している。

昭和50年からの開発行為状況は、農用地の造成576ha（33%）とゴルフ場の設置456ha（26%）、ダム等の設置156ha（9%）、道路の新設又は改築111ha（6%）で全面積の約8割を占めている。林地開発のピークは昭和63年度の19件、205haであった。近年は、沖縄科学技術大学院大学の整備や、リゾート関連ホテルの新設など、再開する傾向が見られる。

年度別林地開発行為の推移(新規のみ)



S50～R3 新規のみ

単位 件数：件 面積：ha

	林地開発許可		林地開発協議		開発行為計		
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	割合(面積)
別荘地の造成	2	63	-	-	2	63	4%
ゴルフ場の設置	13	456	-	-	13	456	26%
宿泊施設・レジャー施設の設置	15	62	-	-	15	62	4%
工場・事業場用地の造成	17	71	8	14	25	85	5%
住宅団地の造成	8	52	2	2	10	53	3%
土石等の採掘	6	103	0	0	6	103	6%
農用地の造成	67	200	66	378	133	578	33%
道路の新設又は改築	-	-	40	111	40	111	6%
学校・博物館用地の造成	-	-	4	9	4	9	1%
公園・運動場等の造成	-	-	3	22	3	22	1%
ダム等の設置	-	-	11	156	11	156	9%
その他	7	27	11	25	18	51	3%
計	135	1,034	145	714	280	1,748	100%

※2件の廃止があったため実績とは異なる。

12. 林業構造改善事業

(1) 事業の概要

林業構造改善事業は、林業の安定的な発展を図り、林業従事者の所得を増大して、経済的・社会的地位の向上を図ることを目的とし、本県においては昭和52年からの沖縄林業振興特別対策事業を皮切りに数次にわたり林業構造改善事業を実施し、地域の特性を活かした林業振興を図ってきている。事業内容は、特用林産物や緑化木等の生産加工施設、森林公園の整備、木材加工施設の整備等多種多様である。

(2) 近年の事業内容

区分	本部町	金武町
事業期間	平成24年度	平成26年度～平成27年度
事業費	32,295千円	74,551千円
事業主体	もとぶバイオマス事業協同組合	企業組合キンモク
事業内容	森林バイオマス等活用施設(機械等)	木材加工流通施設(製品保管施設)
区分	伊是名村	東村
事業期間	平成29年度～平成30年度	令和2年度～令和3年度
事業費	63,237千円	230,074千円
事業主体	伊是名村	スモール農園ひがし生産企業組合
事業内容	森林空間活用施設整備(駐車場等)	特用林産物生産施設 (キノコ生産施設一式)



もとぶバイオマス事業協同組合（本部町）



企業組合キンモク（金武町）



伊是名村



スモール農園ひがし生産企業組合（東村）

13. 特用林産物

(1) 特用林産物の概要

特用林産物とは、森林から生産される全ての林産物から木材を除いた産物の総称である。種類や用途は多種多様で、きのこ・たけのこ等の食文化に関するものや、紬の糸や染色原料等の衣に関するものがあり、樹皮・枝葉・根株・果実などが利用されている。

林業構造改善事業等の補助事業及び林業改善資金等により、生産施設等が整備され、生しいたけ、えのきたけ、たけのこ、木炭などの特用林産物が広く生産されている。

管内においては、平成14年に今帰仁村のえのきたけ生産施設の整備を皮切りに、平成19年に国頭村においてぶなしめじ、平成23年に名護市に菌床しいたけ、平成25年に今帰仁村にエリンギ、令和3年に東村に菌床しいたけの生産施設等が整備され、きのこ類の生産が拡大している。



菌床しいたけ（名護市）

(2) 特用林産物生産量の推移

特用林産物の生産量に占める北部管内生産量

作目名	単位	北部管内の生産量					令和3年 全県の 生産量	北部管内 の占有率	備考
		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年			
しいたけ	t	24.5	54.3	85.8	98.6	92.2	93.7	98.4%	
えのきたけ	t	558.5	649.2	634.6	631.1	620.0	620.0	100.0%	
ぶなしめじ	t	520.4	546.4	526.1	501.3	272.1	272.1	100.0%	
エリンギ	t	123.5	130.7	118.9	116.3	112.7	112.7	100.0%	
その他きのこ	t	10.8	14.9	16.0	21.2	23.4	37.1	63.1%	
たけのこ	t	1.1	0.4	0.2	0.0	0.0	0.8	0.0%	
木炭	t	110.5	98.9	83.3	59.8	53.7	54.8	98.0%	木炭とは黒炭、粉炭、竹炭である
薪	m3	-	-	-	-	228	251	90.8%	
オオタニワタリ	千枚	968.6	815.0	521.9	831.1	705.8	705.8	100.0%	切り葉用のみ
ユーカリ	-	1.3	2.4	2.4	3,200	3,200	3,200	100.0%	

※「その他きのこ」はクロアワビタケ、アラゲキクラゲである。

※「ユーカリ」の単位は平成28年から令和元年まではトン、令和2年以降は本である。



ぶなしめじ（国頭村）



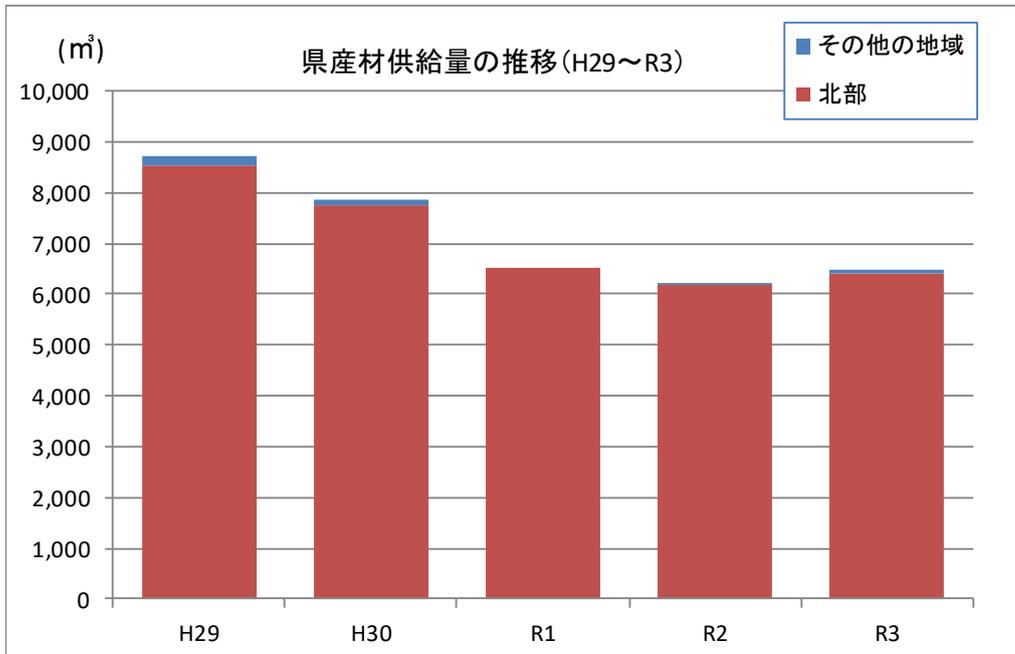
切葉用オオタニワタリ（伊江村）

14. 木材需給

(1) 木材需給の概要

県における令和3年度の木材需給量は129.8千 m^3 で、その内訳は、輸入材20.3千 m^3 、移入材（県外から購入した国産木材）103.0千 m^3 、県産木材6.5千 m^3 であり、木材自給率は5.0%となっている。

県産木材のうち、9割以上が北部の森林から生産されている。



(2) 県産材利用状況

管内で生産された木材は、主に製材用やオガ粉、チップ等として利用されている。また、管内には製材工場が2事業所あり、チップ・オガ粉を取り扱う工場は3事業所ある。（令和4年度未現在）



オープンラック、壁掛けボード



菌床用オガ粉



木製什器

15. 林業普及指導

(1) 林業普及指導事業

林業普及指導事業は森林所有者等に対し、林業に関する技術及び知識の普及並びに森林施業に関する指導を行い、林業技術の改善、林業経営の合理化、森林の整備等を促進し、地域林業の振興及び森林所有者等の所得の向上を図るため、下記事項を重点的に推進している。

- ① 森林施業の促進
- ② 特用林産物の生産振興
- ③ 森林被害対策の推進
- ④ 林業後継者等担い手の育成確保
- ⑤ 県産木材の利用促進
- ⑥ 森林の公益的機能の促進
- ⑦ 林業経営指導
- ⑧ 森林・林業に関する技術・知識の普及・指導

○ 森林施業の促進



コウヨウザン成長量調査

○ 特用林産物の生産振興



きのこ生産指導

○ 森林被害対策の推進



市町村への森林病虫害調査方法の指導
(北部地区林業研究会)

○ 森林・林業に関する技術・知識の普及・指導



森林施業に係る勉強会

(2) 林業普及指導協力員

森林・林業に関して専門的な技術や知識を持った人材を林業普及指導協力員として認定し林業普及指導員と協力し効率的な普及指導活動を実施する。なお、管内においては以下の10名が認定されている。

(令和5年3月末現在)

番号	氏名	所在	分類	専門分野
1	上野 和昌	名護市	森林インストラクター	森林教育
2	山城 勝則	大宜味村	その他(シイタケ生産)	特用林産
3	平田 嗣雄	東 村	指導林家(シイタケ生産)	特用林産
4	山城 健	国頭村	その他	林産
5	仲地 本吉	名護市	その他(木炭生産)	特用林産
6	上原 学	名護市	指導林家(シイタケ生産)	特用林産
7	渡口 直樹	国頭村	その他	森林教育
8	比嘉 進	国頭村	その他	林産
9	山川 安雄	国頭村	その他	森林利用
10	吉元 充	本部町	樹木医	森林利用



林業普及指導協力員による木育活動
(北部農林高校)

(3) 林業研究グループ

林研グループ(林業研究グループ)は、森林づくりの技術や経営改善、地域づくりや交流など森林・林業にかかわる活動をする自主的なグループを結成し、学習及び地域活動を展開している。なお、管内においては以下の3グループが活動している。

(令和5年3月末現在)

名称	会員数	市町村	備考
国頭村林業研究会	19	国頭村	
沖縄北部森林組合林業研究グループ	16	名護市	
やんばる菌床しいたけ研究会	2	名護市	

16. 森林組合

(1) 森林組合の概要

管内の森林組合は、国頭村以外の11市町村で構成する沖縄北部森林組合と、国頭村単独の国頭村森林組合の2組合がある。

森林組合は、組合員が協同してその経済的社会的地位の向上及び森林の保続培養、森林生産力の増進を図ることを目的としている。

事業内容は、造林事業、松くい虫防除事業、治山事業等の利用事業の他、販売・購買事業にも力を入れている他、最近では、木育活動等の森林資源を活用した新たな事業、貴重な野生動植物の保護のための林道パトロール事業にも取り組んでいる。

森林組合の組織の現状

項目		沖縄北部森林組合		国頭村森林組合	
		令和4年6月	令和5年6月	令和4年6月	令和5年6月
正組合員数	計	164人	162人	190人	179人
	正組合員数	68人	66人	158人	147人
	準組合員数	96人	96人	32人	32人
役員	常勤理事	1人	1人	1人	1人
	非常勤理事	13人	12人	4人	4人
	監事	2人	2人	3人	3人
職員数		4人	3人	5人	5人
出資状況	一口の金額	500円	500円	10,000円	10,000円
	出資口数	39,670口	39,648口	3,314口	3,134口
	払込済出資額	19,835,000円	19,824,000円	33,140,000円	31,340,000円
	法人設立年(登記)	昭和49年6月11日		昭和59年9月14日	
代表理事組合長名		渡具知 武豊	渡具知 武豊	宮城忠信	宮城忠信
事務所所在地		名護市宇茂佐913の2 tel 0980-52-0412		国頭村与那1258 tel 0980-41-5421	



沖縄北部森林組合 収穫伐採



国頭村森林組合 工場内ヤード

17. 県民の森

(1) 概 要

森林との触れ合いと自然観察、体系的な展示モデルによる森林学習、林業生産活動を通して学ぶ森林・林業の役割等についての知識の向上、森林レクリエーションを通じた県民の健康増進など、総合的に森林・林業の普及啓発を図るため、恩納村内に「県民の森」を整備（S58～H5）、昭和61年度から供用を開始した。なお、平成18年4月から指定管理者制度の導入により、運営管理を行っている。

総面積181haの敷地内に総合案内棟をはじめ、用具貸出棟、木のふれあい館、森のふしぎ館、各種広場、キャンプ場、シャワー室のほか、森の中を観察することができる自然観察道（登山コース及び溪流コース）、花や緑とふれあうことのできる花木園及び桜園、パークゴルフコースがあり、県民に広く利用されている。また、グランドゴルフ及びパークゴルフの用具、自転車、テントなどの貸出も行っている。

供用開始から30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいたことから、令和元年度に「沖縄県県民の森個別施設計画」を策定。特に施設の老朽化が著しい「学習展示館」と「森林科学館」は、令和2～4年度にかけて大規模改修を行い、令和4年9月に新たに「木のふれあい館」、「森のふしぎ館」としてリニューアルオープンした。

位 置：国頭郡恩納村字安富祖、名嘉真及び喜瀬武原（恩納村有林内）

面 積：181ヘクタール

開園時間：9:00～18:30(4月1日～8月31日)、9:00～17:30(9月1日～3月31日)

施設概要：

① 建築物	総合案内棟、木のふれあい館、森のふしぎ館、用具貸出棟、広場トイレ(2棟)、あずまや(3棟)、シャワー室
② 広場等	冒険広場(草スキー場・自転車道・遊具等の施設:9,180㎡) 中央広場(13,440㎡)・パークゴルフ場(18ホール:10,724㎡:7,937㎡+桜園芝2,787㎡) スポーツ広場(7,400㎡)・キャンプ場(14,830㎡) 桜園(6,687㎡:森3,900㎡+芝広場2,787㎡)・花木園(1,410㎡) 市町村の森(1,200㎡)・緑の日制定記念の森(1,000㎡)
③ その他	自然観察道(遊歩道) 登山コースC(約1,300m)、登山コースA(約600m)、 登山コースB(約500m)、溪流コース(約900m) 駐車場(4カ所・435台) 森のふしぎ館近く(普通乗用車200台、バス10台)、樹木園(普通乗用車 21台) キャンプ場(普通乗用車150台、バス4台)、スポーツ広場前(普通乗用車 50台)



自然観察道

(2) 入園者の推移



リニューアルイベントでのクラフト体験

(3) 施設配置図



18. 緑化

(1) 緑化の概要

緑は、潤いと安らぎのある生活環境はもとより、県土の保全や自然環境の保全、景観の形成として重要であるのみならず、産業の振興や地域の活性化に大きく寄与している。

そのため、県では、緑の重要性を認識し、亜熱帯沖縄の特性を生かした緑豊かで潤いと安らぎのある、100年先を見据えた「緑の美ら島」の創生をめざして、平成23年度に、県の緑化施策の総合計画として「緑の美ら島づくり行動計画～緑の美ら島の創生をめざして～」を策定し、本計画に基づき、多様な緑化事業を推進している。

(2) 令和3年度緑化コンクール受賞者

1 学校環境緑化の部

年度	部門別	表彰区分	団体名等	備考
令和4年度	小中学校	入選(会長賞)	今帰仁村立兼次小学校	

【学校環境緑化の部】

今帰仁村立兼次小学校（入選（会長賞））



百周年記念園庭



ホウオウボク植栽



校庭の様子



児童による植栽

19. 鳥獣保護

(1) 鳥獣保護の概要

野生鳥獣は人間生活に安らぎを与え、農林水産業にも有益なため、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に基づき、5年を一期として鳥獣保護事業計画(R4.4.1からR9.3.31まで)を樹立し、野生鳥獣の保護繁殖に努めている。

鳥獣保護行政については、鳥獣保護事業計画、鳥獣保護区、鳥獣の捕獲許可、狩猟免許制度に関する業務を実施している。

(2) 鳥獣保護区等

名 称	面積(ha)		期 間	備 考
	鳥獣保護区	特別保護区		
西 銘 岳	84	30	2035.10.31	
佐 手	158	58	2035.10.31	
※やんばる(安田)	1,279	220	2029.10.31	
与 那 覇 岳	666	23	2035.10.31	
※やんばる(安波)	465		2029.10.31	
大 保	240		2024.10.31	
※屋 我 地	3,217	1,001	2026.10.31	
名 護 岳	371	207	2035.10.31	
恩 納	458		2035.11.14	
山 田	186		2035.11.14	

※は国指定

(3) 休 獵 区

名 称	面積(ha)	期 限	備 考
恩 納	10,200	2022.11.14	令和5年度は該当なし

(4) 鉛散弾規制地域

名 称	面積(ha)
伊 是 名 島	1,409

(5) 鳥獣捕獲許可件数(令和4年度(令和5年6月現在))

捕 獲 許 可 件数	鳥 獣 捕 獲 数			
	カラス	イノシシ	カルガモ	シロガシラ
19	1,000	228	10	50

20. 森林環境税及び森林環境譲与税

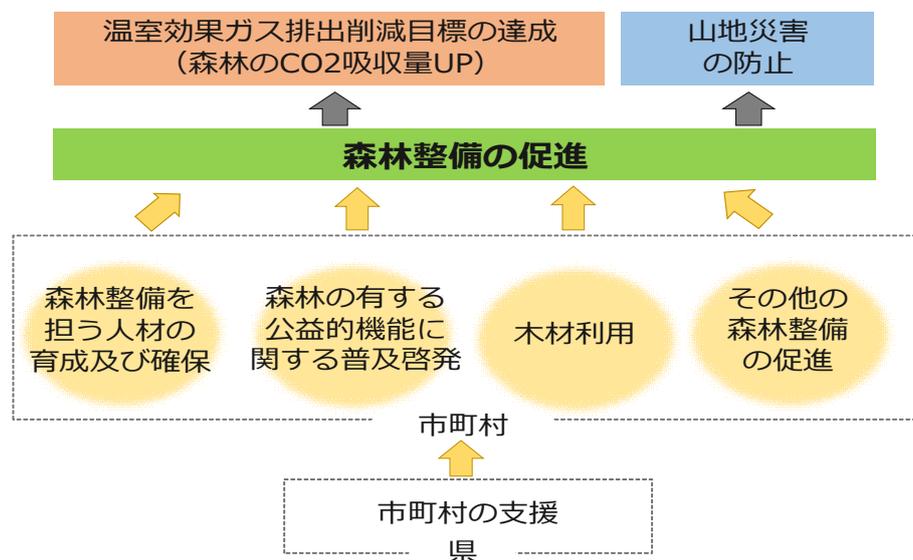
(1) 森林環境税及び森林環境譲与税の目的

森林環境税及び森林環境譲与税は、「温室効果ガス排出削減目標の達成」や「山地災害防止」等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るために、市町村及び都道府県が実施する森林の整備及び促進に係る施策の財源に充てるため、地方財源を安定的に確保することを目的に創設されました。

森林環境税は、国税として令和6年度から1人あたり年額1,000円を市町村が賦課徴収します。森林環境譲与税は、令和元年度から市町村及び県へ譲与されています。

(2) 森林環境譲与税の使途

森林環境譲与税は、市町村においては、①森林の整備に関する施策、②「森林の整備を担うべき人材の育成及び確保」、③森林の有する公益的機能に関する普及啓発、④木材の利用の促進などの施策に要する費用に充てなければならないとされており、また県においては、市町村が実施する施策の支援に関する施策とされています。



森林環境譲与税の活用実績



うんな中学校理科室 県産材木使用椅子購入



国頭村議会 県産材木使用

21. 予算の推移（決算ベース）

単位：千円

項 目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
現	林業費	285,206	339,553	276,479	296,490	313,925	
	林業総務費	1,787	1,809	1,582	1,419	2,925	
	林業振興指導費	27,188	29,219	11,614	12,197	18,646	
	森林病虫害防除費	29,582	25,829	24,147	27,036	25,263	
	造林費	76,634	58,659	48,002	38,941	35,596	
	林道費	28,003	12,530	12,209	16,951	11,971	
	治山費	122,012	211,508	178,926	199,946	219,524	
年	農林水産施設災害復旧費	58,679	22,658	9,976	45,093	34,625	
	林業災害復旧費	58,679	22,658	9,976	45,093	34,625	
環	環境保全費	—	—	—	—	—	
	環境保全費	—	—	—	—	—	
	自然保護費	—	—	—	—	—	
都	都市計画費	—	—	—	—	685	
	公園費	—	—	—	—	685	
小計		343,885	339,553	286,455	341,584	349,235	
繰	林業費	72,654	4,575	87,828	49,340	121,469	
	林業振興指導費	—	—	—	—	—	
	造林費	—	—	—	—	—	
	林道費	72,654	4,575	—	—	4,585	
	治山費	—	—	87,828	49,340	116,884	
越	農林水産施設災害復旧費	—	25,606	17,207	20,582	14,678	
	林業災害復旧費	—	25,606	17,207	20,582	14,678	
小計		72,654	30,181	105,035	69,922	136,147	
合計		416,539	392,392	391,490	411,506	485,382	



木育（ドローンによる森林調査）



わくわく木もくフェア（県民の森）

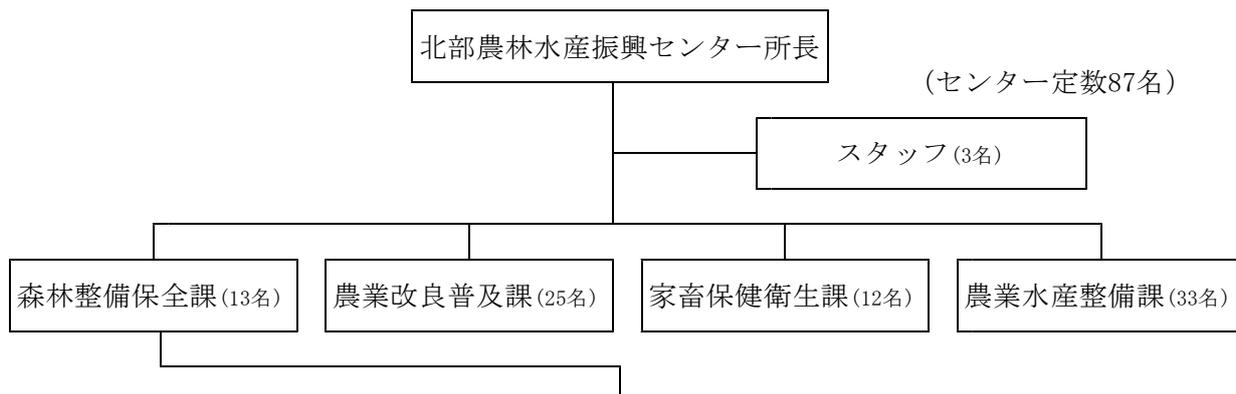


森林散策



環境調査研修

22. 森林整備保全課組織体系及び所掌事務（令和5年4月1日現在）



森林整備保全課 (13名) 事務職3名、技術職10名		森林整備保全課長	〒905-0015 名護市大南1-13-11 沖縄県北部合同庁舎2F ☎0980-52-2832 FAX0980-52-2833
	森林整備班 (7名)		緑保全班 (6名)
職 員 配 置	班長 (1名) 主任技師 (1名) 主任 (2名) 主事 (2名) 技師 (1名)		班長 (1名) 主任技師 (2名) 主任 (2名) 技師 (1名)
所 掌 事 務	(1) 森林・林業技術の普及指導に関すること。 (2) 県営林経営案の編成に関すること。 (3) 県営林の管理及び経営に関すること。 (4) 立木の調査及び管理に関すること。 (5) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟に関すること。 (6) 造林及び林業種苗に関すること。 (7) 森林病虫害の駆除及び予防に関すること。 (8) 民有林野経営の指導、育成及び普及に関すること。 (9) 森林計画に関すること。 (10) 林業労働及び林業用具の改善奨励に関すること (11) 林産物の生産加工の指導に関すること。 (12) 森林組合に関すること。 (13) 荒廃林地緑地化に関すること。 (14) 緑化の普及及び推進に関すること。 (15) 沖縄県民の森に関すること。 (16) その他林業に関すること。 (17) 庶務に関すること。 (18) 林業金融に関すること。 (19) 環境保全に関すること (20) その他、他班に属しない事務に関すること。		(1) 治山事業に関すること (2) 林道事業に関すること。 (3) 保安林制度に関すること。 (4) 林地開発許可制度に関すること。

23. 資料（北部管内）

（令和5年4月現在）

（1）市町村別土地面積及び森林面積

No.		区域面積① (ha)	森林面積 (ha)			森林率
			総数②	国有林	民有林	
	県計	228,202	106,438	32,125	74,313	47%
	北部計	82,548	52,780	7,533	45,247	64%
1	名護市	21,094	13,755		13,755	65%
2	国頭村	19,480	16,441	3,957	12,484	84%
3	大宜味村	6,355	4,841		4,841	76%
4	東村	8,188	6,056	3,545	2,511	74%
5	今帰仁村	3,993	1,359		1,359	34%
6	本部町	5,436	2,090		2,090	38%
7	恩納村	5,084	2,934		2,934	58%
8	宜野座村	3,130	1,552		1,552	50%
9	金武町	3,793	2,021		2,021	53%
10	伊江村	2,278	144	24	119	6%
11	伊平屋村	2,182	1,217	7	1,210	56%
12	伊是名村	1,543	370		370	24%

※合計と内訳は四捨五入により必ずしも一致しない。

（2）市町村の木・花・花木の指定状況

NO	市町村名	木	花	花木	設立年月日
1	国頭村	イタジイ	サクラツツジ	イジュ	S57.12.15
2	大宜味村	シークラーサー	シークラーサー	－	S62.8.1
3	東村	ヒルギ	ツツジ	－	S53.4.1（花）
4	今帰仁村	リュウキュウマツ	ハイビスカス	－	S60.3.13
5	本部町	フクギ	ラン	サクラ	S62.12.10
6	名護市	ガジュマル	テッポウユリ	ヒカンザクラ	S48.8.1
7	恩納村	フクギ	オオハマボウ(ユナ)	－	S48.5.15
8	宜野座村	リュウキュウマツ	ツツジ	－	S57.7.29
9	金武町	クバ	サクラ	－	S52.11.21（木） S53.1.6（花）
10	伊江村	ガジュマル	テッポウユリ	サルスベリ	S60.2.5
11	伊平屋村	クバ	ツツジ(トウサツキ)	－	H元.8.7
12	伊是名村	ウバメガシ	トウサツキ	－	H元.3.22

(3) おきなわの名木百選

沖縄は地理的・学術的にも価値の高い植物が生育し、また歴史や風俗に由来する文化的価値のある樹木が多く存在する。そのため、県では県内各地に生育する巨樹・巨木等を名木として認定し、ふるさとの貴重な樹木への関心と理解を高めることを目的として認定されている。管内においては、40の名木が認定されている。

市町村	認定 番号	認定 年度	名称	樹種	所在地	推定樹齢
国頭村	1	H14	比地小玉森の大アカギ	アカギ	国頭村字比地49	400年
	24	H15	奥間土帝君の大キリ	リュウキュウハリギリ	国頭村字奥間1816-1	150年
	53	H17	辺戸の蔡温松	リュウキュウマツ	国頭村字辺戸	150～300年
	86	H19	伊部岳のオオウラジロガシ	オキナワウラジロガシ	国頭村字安田	300年以上
	112	H24	辺土名小学校のセンダン	センダン	国頭村字辺土名181	110年
大宜味村	25	H15	上原のクローギ	シマグワ	大宜味村字上原	100年
	40	H16	塩屋のハスノハギリ	ハスノハギリ	大宜味村字塩屋	300年
	54	H17	喜如嘉のミフクラギとフクギ	オキナワキョウチクトウ、フクギ	大宜味村喜如嘉	75年以上
	106	H23	宮城区のデイゴ	デイゴ	大宜味村字宮城地内	27年
	137	R2	旧大宜味小学校跡地のシマンター平松	リュウキュウマツ	大宜味村字大宜味1	150年
東村	3	H14	サキシマスオウノキ	サキシマスオウノキ	東村字川田261	100～150年
	70	H18	シランキー（名前の知らない木）シルギー、シラキー（樹皮が白い木）	オガタマノキ	東村字有銘29-1	200年以上
今帰仁村	26	H15	アカギ	アカギ	今帰仁村字与那嶺119	120年
	27	H15	フバルシ	コバテイシ	今帰仁村字今泊3117	400年
	71	H18	天底小学校のガジュマル	ガジュマル	今帰仁村字天底	160年
本部町	4	H14	夫婦デイゴ(取り消し)	デイゴ	本部町字伊豆味13	200年
	28	H15	デイゴ	デイゴ	本部町字辺名地52	200年
	72	H18	備瀬のフクギ並木	フクギ	本部町備瀬	300年
名護市	5	H14	ひんぶんがじまる	ガジュマル	名護市大東1丁目299	280～300年
	29	H15	済井出（スミイデ）のアコウ	アコウ	名護市済井出18-1	200年
	113	H24	東江のミフクラギ	オキナワキョウチクトウ	名護市字東江159番地	200年
	114	H24	真喜屋のサガリバナ集落 （舞香花 モーカバナ）	サガリバナ	名護市字真喜屋152.1、53.153-1.156に囲まれる 里道	150年 20年
	115	H24	幸地河原ハーブ前のデイゴ （夫婦デイゴ）	デイゴ	名護市大東298-2番地	100年
	116	H24	瀬喜田小学校のセンダン	センダン	名護市字幸喜4番地1	105年
	138	R2	安和小学校のガジュマル	ガジュマル	名護市字安和174	85年
宜野座村	42	H16	漢那のハスノハギリ	ハスノハギリ	宜野座村字漢那1840	200年
金武町	43	H16	観音寺のフクギ	フクギ	金武町字金武222	350年
	55	H17	伊芸のがじまる	ガジュマル	金武町字伊芸33	300年
	73	H18	ガジュマル	ガジュマル	金武町字金武151	40年
伊江村	8	H14	ガジュマル(取り消し)	ガジュマル	伊江村字東江上210	100年以上
	30	H15	タブノキ	タブノキ	伊江村字東江上75	100年以上
	74	H18	ニーバンガズイマール	ガジュマル	伊江村字西江前194	100年
	124	H25	ガジュマル	ガジュマル	伊江村字東江上207番地	300年
	125	H25	フクギ	フクギ	伊江村字東江上338番地	320年（平田式）
伊平屋村	6	H14	念頭平松	リュウキュウマツ	伊平屋村字田名	300年
伊是名村	7	H14	ノロ殿内のデイゴ	デイゴ	伊是名村字伊是名839	350年
	56	H17	伊是名小学校のガジュマル	ガジュマル	伊是名村字仲田1134	74年以上
	75	H18	仲田みやらびの遊びどころ	ガジュマル	伊是名村字仲田144	200～300年
	76	H18	ガジュマル	ガジュマル	伊是名村字諸見421	100年
	87	H19	仲田はんたもうのガジュマル並木	ガジュマル	伊是名村字仲田135	150年以上

(4) 花と緑の名所100選

地域住民等が地域の花と緑に親しみ、一人一人が県土緑化を推進するとともに、地域活性化や産業振興に寄与するため、「花と緑の名所100選」を県では平成23年度から実施しており、管内においては、27箇所が登録されている。

市町村	登録番号	登録年度	名称	所在地
国頭村	1	H23	国頭村森林公園のサクラ並木	国頭村字辺土名1094-1番地
	2	H23	辺戸蔡温松並木	国頭村字辺土名121番地
東村	3	H23	村民の森つつじ園	東村字平良766-1
	4	H23	慶佐次湾マングローブ群落	東村慶佐次54-1
今帰仁村	6	H23	仲原馬場のマツ並木	今帰仁村字越地（仲原馬場）
本部町	7	H23	八重岳サクラ	本部町八重岳
	8	H23	備瀬フクギ並木	本部町備瀬
	9	H23	伊豆味ベゴニア園	本部町伊豆味1694番地
	10	H23	伊豆味自然石庭	本部町字伊豆味1614
	11	H23	ざまみ農園アジサイロード	本部町伊豆味398番地
	12	H23	海洋博公園/熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	本部町字石川424番地
	13	H23	よへなあじさい園	本部町伊豆味 1 3 1 2
名護市	14	H23	名護中央公園	名護市字名護5511
	15	H23	大川あじさい園	名護市大川8-1
	57	H24	シークワサー花とみどりの里 勝山	名護市字勝山467
	58	H24	宮里3丁目交差点「花と緑のオアシス」	名護市宮里3丁目交差点
	79	H27	クワディーサー通り(名護市港区)	名護市港1丁目777-4地先～名護市城2丁目6536地先
	86	H29	羽地、水田のコスモス	名護市川上、振慶名、田井等、真喜屋、稲嶺地内
恩納村	16	H23	県民の森	恩納村字安富祖2028
金武町	17	H23	億首川マングローブ群落	金武町億首川
伊江村	18	H23	伊江島ハイビスカス園	伊江村字東江前3614-1
	19	H23	伊江島リリーフィールド公園	伊江村字東江上3087
	59	H24	古堅農園フラワーガーデン	伊江村字東江上ミナト原30
伊平屋村	78	H27	念頭平松公園	伊平屋村田名東原2319番1
	85	H29	田名のクバ山	伊平屋村字田名地内
伊是名村	20	H23	伊是名フクギ並木	伊是名村字仲田1203番地
	21	H23	伊是名山森林公園	伊是名村字仲田1203番地

(5) 緑の少年団

緑の少年団は、次代を担う子供たちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした、自主的な団体で、管内においては15団体が設立している。

設立 番号	団体名	設立 年月日	所在地、学校名等	団員数
1	喜瀬武原緑の少年団	S51. 5. 15	恩納村字喜瀬武原458-6 喜瀬武原小中学校	—
4	辺土名小緑の少年団	S54. 11. 14	国頭村字辺土名181 辺土名小学校	12
11	奥間小緑の少年団	H2. 4. 25	国頭村字奥間1 奥間小学校	12
32	伊是名村緑の少年団	H9. 4. 21	伊是名村字仲田1163 伊是名小学校	11
36	今帰仁小学校緑の少年団	H10. 10. 15	今帰仁村字越地207 今帰仁小学校	10
37	屋部小学校緑の少年団	H10. 11. 30	名護市字屋部47 屋部小学校	10
46	伊江村緑の少年団	H15. 8. 19	伊江村字東江前38 伊江村農林水産課	21
49	伊豆味小学校緑の少年団	H18. 11. 13	本部町字伊豆味13 伊豆味小学校	23
51	兼次小学校緑の少年団	H20. 5. 1	今帰仁村字今泊3933 兼次小学校	9
53	伊平屋村緑の少年団	H21. 4. 30	伊平屋村字我喜屋251 伊平屋村農林水産課	20
55	佐手小学校緑の少年団	H22. 6. 10	国頭村字佐手293 佐手小学校	10
56	塩屋小学校緑の少年団	H23. 4. 25	大宜味村字塩屋538 塩屋小学校	—
59	金武町緑の少年団	H25. 5. 10	金武町字金武1 金武町産業振興課	10
65	漢那小学校緑の少年団	H30. 5. 7	宜野座村漢那1824 漢那小学校	8
66	安田小学校の緑の少年団	H30. 12. 17	国頭村字安田279番地 安田小学校	12

(6) 森の名手・名人

平成14年度から（公社）国土緑化推進機構において、「もりのくに・にっぽん運動」のリーディングプロジェクトとして、「森づくり」「森の恵み」「加工」「森の伝承・文化」の4部門から、すぐれた技を極め、他の模範となっている達人を「森の名手・名人」として選定しており、管内においては、8名が選定されている。なお、「森の名手・名人」の選定は平成30年度をもって終了となった。

年度	部門 (生業等)	氏名	功 績	市町村
H15	加工部門 (ワラビ細工)	大城 タマ	ワラビ細工は、同村に古くから伝わる伝統工芸で、籠など日常生活用具として使われてきた。現在は代替品の出現により過去のものになりつつあるが、経験年数63年のベテランのワラビ細工士として、現在も趣向を凝らしたデザインの籠を展示販売しており、その評価は高く平成3年度には県文化功労者表彰も受けた。	今帰仁村
H18	森づくり部門 (造林手)	大城 盛雄	長年にわたり、国頭村森林組合の作業班長として森林作業の重要性と育林作業の技術指導にあたり、若者の林業担い手育成と後継者や林業研究グループの育成にも力を注いでいる。また、県内の高校生への自然体験学習や環境教育の指導にあたりるとともに、国頭村各種団体を主体とする講演会の講師としても活動を行っている。	国頭村
H20	加工部門 (木工業)	眞謝 剛	26年間にわたって木工芸に携わっており、近年は県産木材にこだわった製作活動を行っている。工房においては、月1回の木工教室を行い、一般参加者のほか都市部の文化サークルの活動を受け入れている。また、「夏休み親子木工教室」を毎年開催するなど、やんばるを中心とした地域活動の務めているほか、サラリーマンをしながら木工に携わる人への指導にあたるなど幅広く木工技術の普及啓発を行っている。	大宜味村
H21	森の伝承・ 文化部門 (染色・栽培)	上山 弘子	名護市の山間大湿帯に昭和55年から入植し循環型農業を始める。その傍ら独学で「生葉染め」を習得し婦人会で取り組みながら、名護市ふるさと創生人材育成事業の1期生として「琉球藍染め研究会塾」の活動を開始する。その後、「やまあい工房」を設立し、独自の製品を開発し名護市商工会主催の特産品コンテストに入賞。このことが評価されて「沖縄県地域資源活用型起業家事業」に認定され、新製品「美ら藍」を誕生させ各地で展示即売会を行う。	名護市
H22	加工部門 (製炭業)	玉城 凱宣	祖父の代から製炭業を営んでおり、自身も43年間炭焼づくりから炭焼きまでを行っている。現在は、多様化した需要に対して新しい製品を開発し、地域おこしに貢献している。また、地域の学校の総合学習を積極的に受け入れ、来訪者に対して希望があれば山中にある古い炭窯跡の案内も行っている。	国頭村
H24	森の伝承・ 文化部門 (茅葺き ：リュウキュウチク)	大田 孝全	父親が茅（リュウキュウチク）葺き屋根職人・大工だったことから、父の弟子として見習い修行を重ね、大工の棟梁としての地位を築いた。その後、30年前に国頭村奥間の神アサギを復元。以来、各地の神アサギや海洋博記念公園や名護市博物館の高倉の茅葺き等、多くの歴史的建築物の修復・保存に関った。最近では国頭村楚洲で行われた映画撮影で「鬼太郎ハウス」の茅（リュウキュウチク）葺きを製作したものがある。	国頭村
H25	加工部門 (木工業)	宮城 和利	大工職で培った知識と技能を活用して独自の技術開発を行い、木製品の品質向上と製品開発に取り組む一方、木工技術の向上や技能の伝承を図りながら、木工製作に携わっている。主な作品としては、家具(収納棚・食器棚・仏壇)や、積み木、うす、三線等があり、その全てに気品と趣のある素晴らしい作品となっている。特に、氏の作り出す三線には地元産のイスノキが用いられ、島唄との相性がとても良いとの事。また、国頭村の各地区に東屋を建築し、地域住民の憩いの場として広く活用され、親しまれている。	国頭村
H28	森の伝承・ 文化部門 (わらび細工 ：コシダ)	国吉 春子	今泊集落は、沖縄本島で唯一わらび細工が引き継がれている集落である。現在集落には、作り手は国吉氏を初め数名しかおらず、その中でも70年間と最も経験が長く、材料であるわらびを自ら採取する作り手である。国吉氏のわらび細工の作品は、いろいろなアイデアを取り入れ、新しい形のわらびかごを沢山生み出している。現在は、わらび細工の技術をご子息に受け継いでおり、沖縄の民芸品としてわらび細工が見直されている。	今帰仁村

(7) 県植樹祭

回数	開催日	開催場所	大会テーマ	植樹	樹種
12	昭和37年 5月13日	名護市 クニンダマタ貯水池	みどりの森で、豊かな郷土	8,600	モクマオウ、ソウシジュ、リュウキュウマツ
14	昭和39年 3月25日	名護町名護城	郷土をみどりで包もう	540	タイワンハンノキ、リュウキュウマツ
16	昭和41年 3月25日	名護町字喜瀬ブセナ崎	沖縄を緑の島に	1,100	モクマオウ、リュウキュウマツ、ソウシジュ
17	昭和42年 4月6日	恩納村万座毛	防げ台風、育てよ森林	1,330	モクマオウ、リュウキュウマツ、ワシントンヤシ
19	昭和44年 3月14日	名護市県有林南明治山	緑の山、国の栄え	200	シマナンヨウスギ
23	昭和48年 2月23日	名護市 北部工業高等学校	学園を緑で包もう	880	モクマオウ、ソウシジュ、シマナンヨウスギ等
27	昭和51年 5月18日	名護市久志中学校	学園を緑で包もう	874	モクマオウ、オキナワツゲ、デイゴ、リュウキュウマツ、ココヤシ
30	昭和54年 5月16日	恩納村字安富祖 県民の森	緑で結ぼう村と街	1,700	ヤマモモ
36	昭和60年 6月8日	東村東村民の森	君の未来、緑の地球	1,345	イジュ、サンダンカ、タマモクマオウ、リュウキュウマツ等
41	平成2年 4月29日	国頭村 国頭村森林公園	豊かな緑あすの活力	1,690	ツバキ、ツツジ、リュウキュウアセビ
45	平成6年 4月29日	恩納村喜瀬武原 喜瀬武原小中学校	森の緑で心の豊かさを	1,500	ツツジ、リュウキュウコクタン、フクギ
48	平成9年 4月29日	伊是名村 臨海ふれあい公園	みどりづくり 大地に託す夢・未来	1,276	アカテツ、フクギ、リュウキュウマツ、オオハマボウ等
50	平成11年 4月29日	名護市名桜大学	緑とすごそう楽しい未来	2,110	リュウキュウマツ、フクギ、クスノキ、サキシマスオウノキ等
55	平成16年 4月17日	伊江村村民レク広場	築こう 緑でつつむ 島の未来	3,000	モクマオウ、テリハボク
58	平成19年 4月28日	国頭村くいな エコ・スポレク公園	つくろう 森と水とやすらぎの里	3,309	リュウキュウマツ、モクマオウ、テリハボク他9種
59	平成20年 5月10日	今帰仁村総合運動公園	引き継ごう 緑豊かな 我が郷土	1,392	アカテツ、フクギ、ハイビスカス、サキシマハマボウ等他2種
60	平成21年 5月9日	伊平屋村我喜屋ダム	未来へつなごう 豊かな原風景の郷	2,234	ビロウ、ツツジ、タブノキ、クロヨナ他5種
62	平成23年 5月14日	大宜味村塩屋湾外埋立地 海浜公園「結の浜」	広げよう 緑の自然とぶながやの心	1,500	ツバキ、ハイビスカス
64	平成25年 5月18日	金武町「億首ダム」	感じよう 水と緑の豊かな環境	5,400	サクラ、タブノキなどの在来種（17種）
66	平成27年 5月23日	名護市 なごアグリパーク	未来へつなごう 緑豊かなあけみおのまち・名護	1,500	ケラマツツジ、ヤブツバキ、イジュ他2種
69	平成30年 5月19日	道の駅 宜野座	宜野座発！！ 水と緑のハーモニー	1,000	クロトン、コバノサンダンカ
71	令和3年 2月9日	恩納村 沖縄科学技術大学院大学	広げよう豊かな緑と 美しい海を	1,370	オキナワシャリンバイ、ハマヒサカキ、シマヤマヒハツ、ハマジンチョウ、ミニサンダンカ
72	令和4年 5月28日	本部町 八重岳桜の森公園	緑よありがとう 心豊かな町づくり	150	カンヒザクラ、ツツジ

(8) 県育樹祭（平成14年度で廃止）

回数	開催日	開催場所	大会テーマ	面積 (ha)	樹種
2	昭和54年 1月10日	今帰仁村 崎山与保城原	みんなで育てる みどりのふるさと	1.39	イヌマキ
3	昭和54年 11月15日	国頭村 宜名真吉波山	育てよう緑の水と 豊かな郷土	9.83	リュウキュウマツ
4	昭和55年 11月7日	本部町 大嘉陽前山原	緑できずこう 豊かな未来	1.00	ヒカンザクラ
7	昭和58年 11月11日	名護市21世紀の森	育てる緑に明るい未来	1.00	モクマオウ、 リュウキュウマツ
11	昭和62年 11月21日	名護市 名護城公園万本桜	植えた夢つないで 育てて森づくり	2.00	ヒカンザクラ
15	平成3年 11月30日	恩納村県民の森	世界へはばたけ育樹の輪	1.40	ツツジ
20	平成8年 11月9日	国頭村森林公園	育樹できずこう緑の美ら島	0.40	ツバキ、ツツジ、リュウキ ュウアセビ
22	平成10年 11月7日	恩納村 喜瀬武原小中学校	汗の育樹にかがやく未来	1.00	クスノキ、リュウキュウコ クタン、フクギ、ツツジ等
26	平成14年 11月23日	伊是名村 臨海ふれあい公園	広げようみどり 豊かな島づくり	0.39	ウバメガシ、フクギ、アカ テツ、リュウキュウマツ等

(9) 緑の育樹祭

開催日	開催場所	大会テーマ	樹種
平成18年 11月25日	八重岳桜の森公園	太陽と海と緑 みんなで守ろう ふるさとの緑	シークワサー、アセローラ
平成22年 11月20日	国頭村環境教育センター	育てよう 緑豊かなやすらぎの里	イジュ
平成25年 11月23日	今帰仁村総合運動公園	みんなで育てる 豊かな緑 平和なシマ	アカテツ、クロキ、フクギ
平成30年 1月20日	子どもの森広場（伊江村）	繋げよう みどり豊かな故郷へ	フクギ モクマオウ 他8種
令和5年 1月21日	道の駅ぎのざ（宜野座 村）	宜野座発！！水と緑のハーモニー	ツツジ

(10) 「沖縄県農林漁業賞」市町村別受賞状況(昭和52年～令和4年)

農林漁業の経営改善、技術の近代化及び協業化の推進等で成果をあげ、農林漁家の模範となる実績をおさめた農林漁業者及び農林漁業生産集団の中から特に優秀なものを選定して「沖縄県農林漁業賞（林業部門）」を贈呈して本県農林漁業振興と発展に寄与するものである。

市町村名	受賞数	受賞年
国頭村	4	S53、H2、H12、H26
大宜味村	5	S63、H4、H10、H17、R元、R4
東村	3	S61、H13、H23
今帰仁村	2	H21、R2
本部町	0	
名護市	1	H3
恩納村	1	S59
金武町	2	H25、H27
宜野座村	0	
伊江村	1	H16
伊是名村	0	
計	20	



令和4年度 沖縄県農林漁業賞林業部門伝達式
 沖縄県農林水産漁業賞（林業部門）受賞：有限会社 仲井間林業

24. 北部農林水産振興センター森林整備保全課（北部林業事務所）の沿革

- 昭和25年（1950） 4月21日 琉球農林省林野庁の設立に伴い、北部営林所を名護に設置。
 昭和27年（1952） 1月21日 臨時中央政府設立により営林所は資源局の管轄となる。
 昭和27年（1952） 4月 1日 琉球政府の創立により営林所は経済局（後、農林局）の管轄となる。
 昭和36年（1961） 7月31日 立法第100号「行政組織法」の施行により営林所を「営林署」と改称。

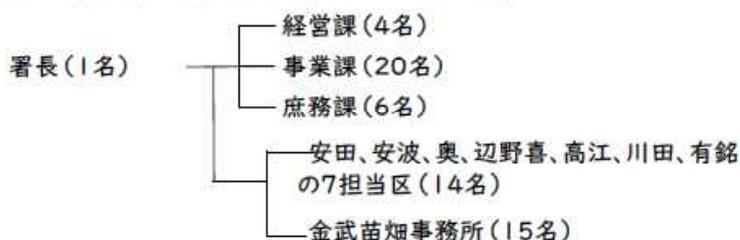


堆肥鋤込
 （1964年伊江村東江上保安林造成）



モクマオウ植付

・内部組織と職員現数（昭和44年1月）



- 昭和47年（1972） 5月15日 行政の日本復帰により琉球政府解消に伴い北部営林署も消滅。沖縄県が復活し、県の行政組織規則の施行により、農林水産部の管下に北部の林野行政実行機関として、県有林やの経営及び市長村有林、私有林等の林業経営普及指導を行うため、名護市に北部林業事務所（名護市字名護2019番地）を置く。



名護樹苗畑内の小屋、溜池



・内部組織と職員現数（昭和52年1月）



金武樹苗畑事務所

- 昭和53年（1978） 3月31日 源河駐在は廃止。
 昭和53年（1978） 1月17日 名護市為又83番地に移転。
 昭和54年（1979） 8月 1日 庶務課が設置され、3課体制。
 昭和59年（1984） 3月31日 農林水産部の方針により名護樹苗畑廃止。
 昭和60年（1985） 4月 1日 名護市名護1453番地（旧名護高等学校跡）に移転。
 平成 5年（1993） 3月31日 奥、辺野喜駐在、金武樹苗畑廃止は廃止。
 平成 5年（1993） 10月25日 旧名護高等学校跡の北部合同庁舎の完成に伴い、事務所を合同庁舎内（2F）に移転。
 平成16年（2004） 4月 1日 県の行政組織の一部改正により庶務課廃止、事業課に取り組みされる。
 平成18年（2006） 4月 1日 県の行政組織の一部改正により、2課体制（事業課、普及課）が2班体制（森林整備班、緑保全班）となる。
 平成19年（2007） 4月 1日 県の行政組織の一部改正により北部管内の農業改良普及センター、家畜保全衛生所、農林土木事務所、林業事務所を統合し、北部農林水産振興センターとなり、名称が森林整備保全課となる。



苗畑事業（場所年代不詳）



Wood Start

ウッドスタート宣言

沖縄県は、県土全体の約半分が森林に覆われています。沖縄の森林は、琉球王国時代に、三司官であった蔡温が奔走し、適正な森林管理に努めて守られた歴史を持っています。また戦争を境に大幅に荒廃したのちも、戦後の復興を通じていち早く植林に取り組み、適正な整備と管理により、現在、充実した状態が保たれています。

そして、国内でも有数の、貴重な生き物が棲み、その独自の生態系を守り維持してきたやんばるの森は、2021年に世界自然遺産に登録されました。

世界に誇る沖縄の森で育った樹木を多くの県民に身近に感じてもらうため、沖縄県と芸術と遊び創造協会は、木育を推進していきます。豊かな自然や身近にある木と触れることにより、豊かな子育て・子育ち環境を整えるだけでなく、多様な世代の人たちが木の良さを知り、暮らしに木を取り入れることで、地域材木製品の消費を増やし、そのことが沖縄の森を育て、守ることになるような循環型社会を構築することを目指します。

私たちは、ここに「ウッドスタート」を宣言し、暮らしの中に木を取り入れ、木のもっている可能性を最大限引き出し、それを子育て・子育ちに生かす取り組みを、協力し合いながら進めていくことを誓います。

令和5年1月15日



沖縄県



芸術と遊び創造協会

照屋義典

×

多田千尋

沖繩きのこ

